

(2014-11-01)

TK-1660A

制御入力変化によるグループ通報の設定

制御入出力状態 が、OFF から ON によるグループ通報を設定する場合は以下のコマンドを使います。「ii」は省略可

AT*GAcc=uu, ss, ii

制御入出力状態 が、ON から OFF によるグループ通報を設定する場合は以下のコマンドを使います。「ii」は省略可

AT*GA/cc=uu, rr, ii

制御入出力状態の変化によるグループ通報を設定する場合は以下のコマンドを使います。
（「ii」は省略可）

AT*GBcc=uu, ss, rr, ii

【 概 要 】

「cc」は制御入出力番号（0～87）、「uu」はグループ番号（0～15）、「ss」、「rr」と「ii」はメモリー番号（0～79）になります。

※ CN3を使用して発信（通報）する場合の制御入出力番号は、以下「**★CN3のNo.2～No.9ピンを使用して発信（通報）する場合**」をご参照ください。

※ 出荷時のグループ番号については、以下「**★出荷時グループ番号**」をご参照ください。

※ メモリー番号には「電話番号」をはじめ、「音声 No.〇〇を再生する」といった動作的なことなど、色々なデータを登録できますが、出荷時状態であらかじめ登録済み状態のメモリー番号もありますので適宜ご利用ください。

例えば、「音声 No.〇〇を再生する」などはあらかじめ登録済みです。（以下「**★出荷時登録済みメモリー番号**」参照）

※ 「ss」はOFFからONになった時の処理内容（＝メモリー番号）を指定します。（この処理は相手先応答検知後に行われます。）

※ 「rr」はONからOFFになった時の処理内容（＝メモリー番号）を指定します。（この処理は相手先応答検知後に行われます。）

※ 「ii」には、相手先応答検知後でなく、グループ通報開始直後に行う処理内容（＝メモリー番号）があれば指定します。

※ 音声を再生するなどの処理を何も行わない場合、「ss」、「rr」と「ii」には 255 を指定します。

※ 「ii」を省略する場合、前のカンマも不要です。(例) AT*GAcc=uu, ss

※ 具体的な設定例は、以下「★設定例」をご参照ください。

★CN3のNo.2~No.9ピンを使用して発信(通報)する場合

上記の場合、「cc」(制御入出力番号)に指定する番号は以下の0~15までのどれかとなります。

- [0] … 対象ピンは CN3のNo.2 で、上限設定電圧以上を計測するとON、下限設定電圧以下を計測するとOFFです。
- [1] … 対象ピンは CN3のNo.3 で、上限設定電圧以上を計測するとON、下限設定電圧以下を計測するとOFFです。
- [2] … 対象ピンは CN3のNo.4 で、上限設定電圧以上を計測するとON、下限設定電圧以下を計測するとOFFです。
- [3] … 対象ピンは CN3のNo.5 で、上限設定電圧以上を計測するとON、下限設定電圧以下を計測するとOFFです。
- [4] … 対象ピンは CN3のNo.6 で、上限設定電圧以上を計測するとON、下限設定電圧以下を計測するとOFFです。
- [5] … 対象ピンは CN3のNo.7 で、上限設定電圧以上を計測するとON、下限設定電圧以下を計測するとOFFです。
- [6] … 対象ピンは CN3のNo.8 で、上限設定電圧以上を計測するとON、下限設定電圧以下を計測するとOFFです。
- [7] … 対象ピンは CN3のNo.9 で、上限設定電圧以上を計測するとON、下限設定電圧以下を計測するとOFFです。

- [8] … 対象ピンは CN3のNo.2 で、下限設定電圧以下または上限設定電圧以上を計測するとON、下限設定電圧から上限設定電圧の範囲内を計測するとOFFです。
- [9] … 対象ピンは CN3のNo.3 で、下限設定電圧以下または上限設定電圧以上を計測するとON、下限設定電圧から上限設定電圧の範囲内を計測するとOFFです。
- [10] … 対象ピンは CN3のNo.4 で、下限設定電圧以下または上限設定電圧以上を計測するとON、下限設定電圧から上限設定電圧の範囲内を計測するとOFFです。

- [11]… 対象ピンは CN3のNo.5 で、下限設定電圧以下または上限設定電圧以上を計測するとON、下限設定電圧から上限設定電圧の範囲内を計測するとOFFです。
- [12]… 対象ピンは CN3のNo.6 で、下限設定電圧以下または上限設定電圧以上を計測するとON、下限設定電圧から上限設定電圧の範囲内を計測するとOFFです。
- [13]… 対象ピンは CN3のNo.7 で、下限設定電圧以下または上限設定電圧以上を計測するとON、下限設定電圧から上限設定電圧の範囲内を計測するとOFFです。
- [14]… 対象ピンは CN3のNo.8 で、下限設定電圧以下または上限設定電圧以上を計測するとON、下限設定電圧から上限設定電圧の範囲内を計測するとOFFです。
- [15]… 対象ピンは CN3のNo.9 で、下限設定電圧以下または上限設定電圧以上を計測するとON、下限設定電圧から上限設定電圧の範囲内を計測するとOFFです。

★出荷時グループ番号

出荷時の設定では、

メモリー番号 0～9 …「グループ0」の電話番号データ

メモリー番号 10～19 …「グループ1」の電話番号データ

メモリー番号 20～29 …「グループ2」の電話番号データ

メモリー番号 30～39 …「グループ3」の電話番号データ

に設定されています。

※ メモリー番号 40以降は、電話番号以外のデータとして扱われるグループである「グループ16」以降のグループに設定されています。

(詳しくは「リファレンスマニュアル」等をご参照ください。)

★出荷時登録済みメモリー番号（一部抜粋）

-
- [メモリー番号 60] … 音声 No.1 を再生し、オンフック（回線切断）する。
- [メモリー番号 61] … 音声 No.1 を再生する。（オンフックしない）
- [メモリー番号 62] … 音声 No.2 を再生する。（オンフックしない）
- [メモリー番号 63] … 音声 No.3 を再生する。（オンフックしない）
- [メモリー番号 64] … 音声 No.4 を再生する。（オンフックしない）
- [メモリー番号 65] … 音声 No.5 を再生する。（オンフックしない）
- [メモリー番号 66] … 音声 No.6 を再生する。（オンフックしない）
- [メモリー番号 67] … 音声 No.7 を再生する。（オンフックしない）
- [メモリー番号 68] … 音声 No.8 を再生する。（オンフックしない）
- [メモリー番号 69] … 音声 No.9 を再生する。（オンフックしない）
- [メモリー番号 70] … 音声 No.0 を再生する。（オンフックしない） ※（注1）メモリー番号 70 は特殊で、自動通報時には設定に関わらず実行されます。

（注1）【 自動通報時の流れ 】

相手応答検知後、まず、設定に関わらず、メモリー番号 70（出荷時設定では 音声 No.0 の再生）が自動的に実行されます。続いて、（通報手順が「暗証番号確認」のときは、暗証番号が一致した後）設定によって指定した電話番号メモリーの処理が実行されます。

※ですので、音声 No.0 への録音についてはご注意ください。

【 備考 】

もしメモリー番号 63 の設定をデフォルトの「音声 No.3 を再生する。（オンフックしない）」から「音声 No.3 を再生し、オンフック（回線切断）する。」に変更するには、

AT&Z63=8399

に設定します。（デフォルトは AT&Z63=83 です。）

（上記例の設定値「8399」の説明）

各メモリー番号には、属しているグループ（任意に設定可）があり、グループ毎にデータの意味が違います。

グループ 0～グループ 15 に所属しているメモリー番号は「電話番号」として扱われます。

グループ 16 以降はそれぞれ特殊なデータとして扱われます。

（詳しくは「リファレンスマニュアル」等をご参照ください。）

上記例のメモリー番号 63 は、デフォルトでグループ 17 に属しています。グループ 17 に属

しているメモリー番号のデータ (=設定値) は2桁ずつ意味を持ち、自身以外の2桁のメモリー番号を複数組み合わせることで指定できるようになっています。通常、メモリー番号は0～79までですが、特殊な番号として、以下の値も指定できます。

- [n*] … 最も左にあると、以降の信号発生を n 回繰り返します。(n : 1～9)
- [8n] … 先頭を 8 にすると、「音声メモリー No.n 番」として扱います。(n : 0～9)
※10 番以上の音声 No.はこの方法では指定できません。
- [9n] … 先頭を 9 にすると、「定義済みトーンデータ書式 No.n 番」として扱います。(n : 0～6)
- [99] … オンフック (回線切断) を行います。最も右にあるときは繰り返しに影響しません。

よって、上記例の「AT&Z63=8399」の「83」は「音声 No.3 を再生する。」の意味となり。「99」は「オンフック (回線切断) する。」の意味となります。

★設定例

CN 3 の No.5 ピンがOFFからONに変化したときに、グループ 1 に通報を行い、音声 No.2 を再生する場合、以下のように設定します。

- コマンドは「AT*GAcc=uu, ss, ii」を使用します。
- 「cc」(制御入出力番号) は、CN 3 の No.5 ピンであれば、「3」か「11」となります。ここでは「3」にします。
- 「uu」(グループ番号) は、グループ 1 なので「1」となります。
- 「ss」(メモリー番号) は、音声 No.2 を再生したいので、メモリー番号「62」を指定します。
- 「ii」(メモリー番号) は省略します。

上記から、設定コマンド「AT*GA3=1, 62」でグループ通報設定を行います。

グループ 1 に電話番号を登録していない場合は、登録します。

出荷時設定では、メモリー番号 10～19 が「グループ 1」の電話番号データなので、例えばメモリー番号「10」に電話番号「0827240081」を登録するには以下のコマンドで行います。

「AT&Z10=0827240081」

通報手順を以下のどれかに設定します。(詳しくは「リファレンスマニュアル」等をご参照ください。)

- 「AT!A0」 … 応答のみ ※デフォルト
- 「AT!A1」 … 暗証番号確認
- 「AT!A2」 … 一斉 (グループ全員応答)

最後に「AT&W」コマンドで設定をフラッシュメモリーに保存します。

- ※ 音声 No.2 に音声録音していない場合は、録音を行っておく必要があります。
- ※ 音声録音につきましては、NET 公開している資料「TK-1660 設定例」等をご参照ください。
- ※ 出荷時設定では、音声 No.0 は特殊で、音声 No.0 に音声録音した場合は グループ通報設定に関わらず、最初に音声 No.0 が再生されます。(続いて音声 No.2 が再生されます) のでご注意ください。

★参考資料

【 通報について 】

- 「TK-1660 リファレンスマニュアル」 63 ページ [項目 13]グループ通報と通報手順
- 「TK-1660 リファレンスマニュアル」 73 ページ [項目 18]音声再生

【 メモリー番号の指定について 】

- 「TK-1660 リファレンスマニュアル」 69 ページ [項目 15]電話番号メモリーの用途変更
- 「TK-1660 リファレンスマニュアル」 69 ページ [項目 19]組み合わせ信号の発生

【 音声録音の方法 】

- 「TK-1660 設定例」 2 ページ [項目 6]音声データのアップロード (AVのみ)

(資料ダウンロード URL)

「TK-1660 リファレンスマニュアル」

<http://www.patok.jp/manual/TK-1660ref.pdf>

「TK-1660 設定例」

<http://www.patok.jp/manual/TK-1660Rei.pdf>